

【タイトル】

西川貴教 × 津田昌太郎『稲妻革命譚』刊行へ 滋賀に累計100億超の経済効果を生んだ音楽フェス「FEST. INAZUMA」の物語

【本文】

T.M.Revolution 西川貴教が主催する野外音楽フェス「FEST. INAZUMA」（旧・イナズマロックフェス）の成り立ちとその独自性に迫る書籍『稲妻革命譚 滋賀県における「FEST. INAZUMA」の社会的役割とその効果』が、2026年7月6日（月）に株式会社blueprintより刊行される。

「FEST. INAZUMA」は、2008年に初代滋賀ふるさと観光大使となった西川貴教が、地元の滋賀に恩返しするために翌2009年からスタートした、滋賀県草津市の琵琶湖畔で催される西日本最大級の野外音楽フェス。アーティストはもちろん、行政や地元企業が一丸となって盛り上げる、地域に根ざした一大イベントになっていることが特徴で、その経済効果は累計100億超にも達するという。エンターテインメントによる地域創生の成功例として、日本全国から注目を集めるイベントだ。18年目の開催となる2026年は、名称を「イナズマロックフェス」から「FEST. INAZUMA」へと一新、さらにパワーアップしたフェスになりそうだ。

本書『稲妻革命譚』は、「FEST. INAZUMA」がいかにして唯一無二の野外音楽フェスへと成長したのかを、旗振り役である西川貴教本人の言葉に加えて、行政担当者の証言、協賛企業の本音、地域メディアの見解など、複数の視点を重ねることで、ひとつの角度からは見えてこないフェスの全体像を描き出したドキュメンタリー。音楽フェスティバル情報サイト「Festival Life」編集長で、これまで国内外500以上のフェスを取材してきた津田昌太郎が、関係者への徹底取材によってその経営モデルの実態を明らかにした。

エンターテインメントの力をいかに活用すれば、誰もが納得する「三方よし」の形で地域創生に繋がられるのか—そのヒントがたっぴりと詰まった一冊になった。



西川貴教は、本書にて「イナズマに足を運んでくれたことがある人も、そうでない人も、イナズマがいかにか唯一無二でヘンテコリンなフェスであるかということ、この本を通じて感じ取っていただけたら幸いです」と綴っている。

なお、版元である株式会社blueprintのECサイト「blueprint book store」では、限定特典付き書籍の予約販売を開始している。特典の内容は近日発表。

■書誌情報

『稲妻革命譚 滋賀県における「FEST. INAZUMA」の社会的役割とその効果』

著者：西川貴教、津田昌太郎

価格：2,800円＋税

発売日：2026年7月6日（月）

出版社：株式会社blueprint

特典付き書籍『稲妻革命譚』の予約は、blueprint book storeにて受付中！

<https://blueprintbookstore.com/items/6a30f2992358c6ebb0b3e17a>